

1. 港湾雇用安定等計画における能力の開発及び向上を促進するための方策について

【該当箇所 安定等計画「4 港湾労働者の雇用の改善並びに能力の開発及び向上を促進するための方策に関する事項（2）イ」】

- シミュレーターの導入等を行う旨を記載
→ 平成26年12月に港湾技能研修センターにシミュレーターを導入し、平成27年4月よりガントリークレーンにかかるシミュレーションの講習を実施している。
- シミュレーターを活用し、港湾労働者が高度な技術・技能を習得できるよう支援するとともに、講習のニーズを的確に把握した上で効果的な各種講習の実施に努める旨を記載
→ 上記シミュレーターに、トランスファークレーンにかかる機能を追加し、コンテナ荷役の幅広い技術の習得を目指す。

✓コンテナ荷役にはシャーシ方式、ストラドル・キャリア方式、トランスファークレーン方式の3つの方式があるが、規模の大きなコンテナヤードでコンテナの積上げ・積卸し・保管等の作業を行う橋形のクレーンがトランスファークレーンである。

✓現行のシミュレーターにトランスファークレーンのシミュレーション機能が加われば、港湾技能研修センターは、コンテナヤードでの3つの荷役方式に対応でき、幅広い技能の習得が可能な国内初の施設となる予定。



トランスファークレーンの外観

2. 平成27年度におけるシミュレーターを利用した講習の実施状況について

シミュレーター使用コース名(研修日数)	受講者数(人)
ガントリークレーン運転(5日間)	23
ガントリークレーン向上訓練(5日間)	1
ガントリークレーンシミュレーター活用訓練(3日間)	8
合計	32

- 講習開始前の平成27年2月から3月にかけて、20社100名程度の見学者があったものの、実際の受講には結びつかず、平成27年4月から28年2月の受講状況は左表のとおり（職業安定局 建設・港湾対策室調べ）。
- ベテラン作業員の講習日程を確保しにくい等の現状はあるものの、平成28年度については、講習のさらなるPR・受講内容の見直し等に努める。